

平成21年度モデル事業の実施状況

資料1

＜鳥羽市＞ 島内における資源循環モデル検討事業

離島におけるごみ減量化を推進するため、住民等と連携して生ごみ処理機の設置や堆肥等への利用方法の検討などを行い、地域(島内)における資源循環モデルの構築をめざす。

- (経過)
- 9月初め — 市と島内住民による第1回会議
趣旨・事業概要説明、意見交換、集積所の現地確認
 - 9月～10月 — 生ごみ収集・堆肥利用に関する島民アンケートの実施・集計
 - 10月～11月 — 第2回会議、
鳥羽市リサイクルパークの生ごみ完熟堆肥の島内配布・利用
 - 12月～ 1月 — 生ごみ処理機の機種選定
 - 2月～ 3月 — 処理機設置、生ごみ分別講習会 (4月～ 分別回収・処理の開始)

※処理機は「バイオ式」(微生物による高温好気性発酵処理)の機種に決定



現在の生ごみ炭化処理機

<名張市> 福祉・地域づくりと一体となったごみ収集システム等 検討事業

効率的なごみ収集システムの構築をめざし、地域住民やNPO等と連携して、ごみの戸別収集方式からステーション方式への変更と高齢者等支援について検討・試行を進め、あわせて、ごみ減量に向けた生ごみ・草木類の分別収集や資源化についての検討を行う。

- ・市快適環境審議会(通算7回開催)において「ごみゼロ社会をめざすアクションプログラム」改訂を審議し、検討結果報告を受け策定した次期計画案について、市内14地区の住民説明会等で意見を聴取、年度内の成案化をめざす。
- ・計画案の柱として「生ごみ・草木類の資源化」と「高齢者・障害者等世帯へのごみ出し支援」を位置づけ、前者は分別収集→再資源化(堆肥化)の方向性を打ち出し、後者は、収集システムモデルとして、大型回収ステーションを2箇所設置(1箇所/300戸)し、あわせて、市高齢者見守り策「要援護者等日常生活支援事業」と連携した自治会契約NPOによるごみ出し支援実施により、収集を効率化した。

<四日市市> 複合的ごみ減量・リサイクル施策検討事業

ごみ減量・リサイクルの推進をめざし、地域住民・NPO・事業者等と連携し、レジ袋有料化や簡易包装の推進、資源物回収拠点の設置など、複合的なごみ減量施策の取組を推進する。

- ・近隣3町(朝日、川越、菰野各町)の担当者、事業者も参画する、地域住民・NPO等団体・事業者・行政で構成する「ごみ減量リサイクル推進協議会」を3回開催(H22.2月現在、準備会合1回含む)。
- ・ごみ減量リサイクル推進店(仮称)の登録・運営の仕組みづくりについて検討中。
スーパー等小売店における、ごみ減量に向けた複数の取組メニュー(ex:レジ袋有料化、エコマーク商品取扱、資源物店頭回収、簡易包装推進など)の検討を前提に議論を行っており、H22.4.1からの四日市市、朝日町、川越町の3市町の参画店舗におけるレジ袋有料化が決定された。

三重県内のレジ袋有料化(協定方式)の取組状況

H22. 3. 10現在

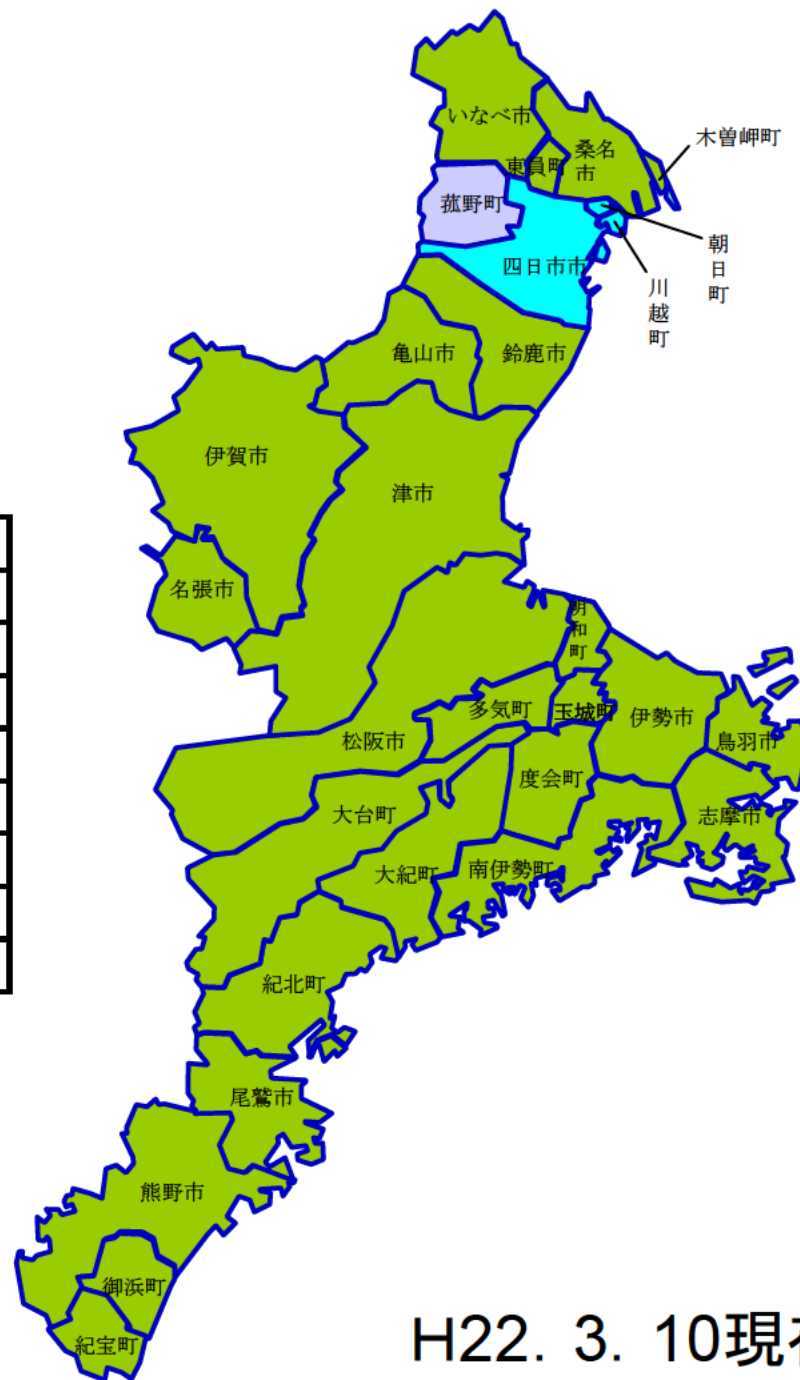
レジ袋有料化実施：25市町／29市町（86％）・人口カバー率：約80％

レジ袋有料化導入期日	市町名
平成19年 9月21日	伊勢市〔10社31店舗〕 ※うち1社1店舗はH20.5.1～、ドラッグストア2社9店舗はH20.9.21～
平成20年 7月 1日	名張市〔10社15店舗〕 ※うちドラッグストア4社6店舗を含む6社8店舗はH20.10.1～ 伊賀市〔10社19店舗〕 ※うちドラッグストア4社8店舗を含む6社10店舗はH20.10.1～
平成20年 9月 1日	鈴鹿市〔13社40店舗〕 ※うちドラッグストア4社16店舗 亀山市〔7社10店舗〕 ※うちドラッグストア 2社3店舗
平成20年10月 1日	桑名市・いなべ市・木曽岬町・東員町〔16社37店舗〕 ※うちドラッグストア4社11店舗
平成20年11月 11日	松阪市・多気町・明和町・大台町・玉城町・大紀町〔12社69店舗〕 ※うちドラッグストア3社21店舗、ホームセンター1店舗
平成21年 1月23日	鳥羽市〔5社10店舗〕 南伊勢町〔3社8店舗〕 志摩市〔10社27店舗〕 ※うち1社1店舗はH21.2.21～、ドラッグストア2社4店舗
平成21年 2月 1日	度会町〔3事業者3店舗〕 ※うち1事業者は個人商店
平成21年 4月 1日	熊野市・御浜町・紀宝町〔8社14店舗〕 ※うちドラッグストア1社3店舗 津市〔18社76店舗〕 ※うちドラッグストア3社19店舗、百貨店1社1店舗、ホームセンター1店舗
平成21年 9月 1日	尾鷲市・紀北町〔3社9店舗〕
平成22年4月1日 導入予定	四日市市・川越町・朝日町〔10社46店舗〕 ※うちドラッグストア1社3店舗
有料化について検討中	菰野町

「事業者—住民—行政」間の 協定方式によるレジ袋有料化

事業者数の県内状況

業 態	事業者数	店舗数
スーパーマーケット	32事業者	217店
農業協同組合	6組合	45店
生活協同組合	1組合	2店
ホームセンター	(1事業者)	2店
個人商店	1事業者	1店
百貨店	1事業者	1店
ドラッグストア	6事業者	100店
総 計	47事業者	368店



H22. 3. 10現在

レジ袋の有料化・削減の取組に関するH21年度末の状況

収益金の活用について (取組実績例)

□ 伊勢市「ええやんか! 環境活動助成金」(H21.2.11 第1回審査会 助成先5件決定)

- ・各事業者から拠出される収益金の一括受け皿となる検討会名義の口座を開設し、市で管理。
- ・市内で環境活動に取り組む個人・団体等からの活動提案応募を募り、検討会メンバーで構成する審査会において、プレゼンテーションを審査し、全件、上限10万円の助成を決定。

①商店街の花プランタ設置 ②峠道での地元桜の植樹 ③神宮外宮参道の清掃
④竹林雑木等の整備と再利用 ⑤路上禁煙・ポイ捨て防止の啓発

※H22年5月頃、助成先からの活動報告書提出を受けて、活動発表会を開催予定。

□ 現在、具体的な活用について検討中

- ・松阪市等1市5町(検討会)・・・一括受け皿となる検討会口座でプールし、管内小学校の1年生(幼稚園・保育園・子育て支援センター)へのアサガオの種・培養土・プランタ等の配布や、希望する公共施設や福祉団体等への「緑のカーテン」用苗の配布など(苗づくりは、管内3高校に協力依頼予定)を行うことについて。

□ 今後、検討する

- ・鈴鹿市・亀山市(合同会議)・・・「事業者判断」と「集約活用」の両方で。
- ・伊賀市(検討会)・・・市広報で意見募集を実施済。「事業者判断」と「集約活用」の両方で。
- ・名張市(推進会議)・・・事業者判断を基本としつつ、市への寄付分は、市「ごみゼロ社会をめざすアクションプログラム」の取組への活用について。
- ・桑員地域2市2町(推進協議会)・・・事業者判断とあわせ、協議会への寄附分は、会設置要綱で謳う「環境保全活動」への活用について。

※その他、尾鷲市・紀北町(推進会議)。

□ 事業者任せ

- ・志摩市・・・うち1事業者から、志摩市ふるさと応援寄附条例に基づき「環境に関する事業」のための寄附が行われ、今後、市にて活用方法を検討。
- ・熊野市・御浜町・紀宝町・・・寄附がある場合は各市町ごとで受け、活用を検討。1事業者から寄附あり(熊野市・御浜町)。環境(ex 緑のカーテン)、福祉で活用予定。

※その他、鳥羽市、南伊勢町、度会町、津市(事業者へのフォロー等を今後検討)。

レジ袋辞退率について (各市町・地域ごとの集計方法・期間で集計した、全事業者の平均値)

- 伊勢市 : H20年度・90.1%~92.1% → H21年度・91.5%~92.6%
- 伊賀市 : H20年度・86.3%~88.4% → H21年度・87.9%~89.3%
- 名張市 : H20年度・88.4%~92.6% → H21年度・91.3%~92.8%
- 鈴鹿市・亀山市 : H20年度・85.6%~88.5% → H21年度・88.4%~90.0%
- 桑員地域2市2町 : H20年度・87.5%~91.0% → H21年度・91.4%~92.2%
- 松阪地域1市5町 : H20年度・89.8%~91.2% → H21年度・90.4%~91.9%
- 志摩市 : H21年1月~H22年1月・90.5%
- 鳥羽市 : H21年4月~7月・88%
- 南伊勢町 : H21年3月~H22年2月末・91.8%
- 度会町 : 85.6%(直近値)
- 津市 : H20年4月~H21年1月・90.0%
- 熊野市・御浜町・紀宝町 : H21年4月~9月・88.7%
- 尾鷲市・紀北町 : H21年9月・83.8%、同10月・86.1%

廃棄物会計基準の県内各市町の導入状況について(H22年3月)

年度	地図色	導入市町	市町数
平成17年度	■	四日市市、伊勢市、菰野町	3
平成18年度	■	津市、鳥羽市	2
平成19年度	■	鈴鹿市、志摩市、尾鷲市、熊野市、桑名市、いなべ市、 木曾岬町、東員町、 桑名広域清掃事業組合、 鳥羽志勢広域連合	8
平成20年度	■	名張市、亀山市、伊賀市、紀北町	4
平成21年度	■	多気町、大台町、大紀町、御浜町、紀宝町、 伊賀南部環境衛生組合、 香肌奥伊勢資源化連合、 南牟婁清掃施設組合、 伊勢広域環境組合	5

(計 22市町、6組合)



平成21年度地域ごみゼロ推進交流会の開催概要

桑名農政環境事務所

「石樽の里まつり」の実行委員会に参加することで、ごみゼロの視点（マイ箸・マイ箸・マイカップ持参等）を盛り込んだイベントを開催しました。

また、リサイクルマーククイズ、ぬり絵等のブースも出展しました。

- ・日時：平成21年11月1日（日）9:00～15:00
- ・場所：いなべ市立石樽小学校（いなべ市）
- ・参加者：約800人（イベント全体の参加者数）

ごみゼロ交流会 in 石樽の里まつり

- ・「マイ箸」、「マイ箸」、「マイ皿」の啓発（持参いただいた方に豚汁等を無料提供）
- ・リサイクルマーククイズ、風呂敷活用紹介
- ・ぬり絵で「はし袋」、ステッカーを製作



豚汁等の提供で「マイ箸」「マイ箸」の啓発



出展ブースでぬり絵での啓発

四日市農林水産商工環境事務所・鈴鹿環境室

「夏の鈴鹿川体験」の実行委員会に参加することで、ごみゼロの視点（マイ箸・マイ箸・マイカップ持参等）を盛り込んだイベントを開催しました。

また、リサイクルマーククイズ等のブースも出展しました。

- ・日時：平成21年8月23日（日）10:00～15:00
- ・場所：鈴鹿川河川緑地 定五郎橋西（鈴鹿市）
- ・参加者：約760名（イベント全体の参加者数）

三泗・鈴鹿地域ごみゼロ推進交流会「夏の鈴鹿川体験」

- ・リサイクルマーククイズコーナーの出展
- ・「鈴鹿生活学校」と協力してマイ箸・マイ箸の啓発（マイ箸・マイ箸持参の方に天ぷら等を提供）
- ・実行委員会でのマイ箸・マイ箸を啓発した結果、他ブースでもマイ箸持参の方に無料トッピングサービスを行っていただけました。



鈴鹿生活学校のマイ箸・マイ箸啓発



リサイクルマーククイズ

津農林水産商工環境事務所

市内で古くからリサイクル業を営む事業場の現地見学を行った後、地元の企業や団体から環境への取組事例についての発表をしていただきました。

- ・日時：平成 21 年 11 月 29 日（日）13:00～17:00
- ・参加者：約 50 名

現地見学

総合資源リサイクルセンター株式会社サカモト（津市）

事例発表

井村屋製菓株式会社 生産管理部主任 小林 正靖氏
新雲出川物語推進委員会 委員長 畑井 育男氏
鎮守の森を夢見る会・その二 主宰 藤田 雅子氏



現地見学の様子



事例発表の様子

松阪農林商工環境事務所

ごみの減量に欠かせない 3 R について一緒に学んでいただくために、講演・展示等により、3 R のいろいろな取組、リサイクルの現状を紹介する勉強会を開催しました。

- ・日時：平成 21 年 10 月 31 日（土） 10:00～16:30
- ・場所：松阪市産業振興センター
- ・参加者：（午後）約 100 名

プレイベント「3 R と容器包装を考える展示」（10:00～12:00、1 階展示場）

9 団体参加（生ゴミリサイクル亀さんの家、マックスバリュ中部(株)、三重県、等）

「3 R と容器包装を考える勉強会～住民・事業者・行政が協働して何ができる？～」

（13:30～16:30、3 階研修ホール）

1. 講演「3 R への舵きりには、協働が必須！～ 2 R を中心とした事例紹介～」
京都大学環境保全センター 助教 浅利美鈴氏
株式会社高島屋 CSR 推進室長 中村 操氏
2. 講演「ガラスびんのリサイクル（容器包装のリサイクル事例）」
株式会社ヤマムラ 専務取締役 山村 和則氏
3. ミニ 3 R 検定の解説
4. 意見交換会 コーディネーター：浅利 美鈴氏
パネリスト：中村 操氏、山村 和則氏
中川 和也（三重県環境森林部ごみゼロ推進室）



講演の様子



展示の様子

伊勢農林水産商工環境事務所

「海、山、川のつながり。ごみゼロの伊勢志摩をめざして。」をメインテーマとして、海、山、川で行われているそれぞれの活動が実は1つにつながっているということを理解していただき、共通の目標に向かって地域一丸となって活動を盛り上げていくために、午前は各団体に成果発表を行っていただく交流会、午後は講演会を開催しました。

- ・日時：平成22年2月13日（土）10:00～15:30
- ・場所：ホテル戸田家 嬉春亭4階花の舞（鳥羽市）
- ・参加者：午前（交流会）73名、午後（講演会）108名

1.伊勢志摩地域ごみゼロ推進交流会（10:00～12:00）

- ・アドバイザー：ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田 裕子氏
- ・テーマ及び発表者
 - 「我が家の生ごみ処理自慢」 アースラブちゃん 代表 坂本 照子氏
 - 「勢田川七夕大そうじ」～勢田川を天の川に～
伊勢河川海域環境美化推進協議会 会長 森本 幸生氏
 - 「リサイクルパークの活動について」
NPOとばりサイクルネットワーク 理事長 山西 元氏
 - 「廃油の回収システムについて」 丸定旅館 西村 和也氏
 - 「鳥羽湾内外の浮遊ごみの収集」
きれいな伊勢志摩づくり連絡会議 幹事 岡田 喜代晴氏
 - 「三重県のごみゼロ推進状況について」
三重県環境森林部ごみゼロ推進室 扇本 みどり

2.伊勢志摩地域ごみゼロ推進講演会（13:00～15:30）

- 基調講演「持続可能な『ごみゼロ社会』めざして」
ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田 裕子氏

パネルディスカッション

- コーディネーター：ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田 裕子氏
- パネラー：四日市大学環境情報学部 教授 松永 勝彦氏
守ろう清流！宮川流域いっせいチェックワークショップ 島本 朔生氏
株式会社山本建材 代表取締役 山本 和宏氏
鳥羽市環境課 課長 中村 孝氏



交流会の発表者



崎田 裕子氏の講演



パネラーのみなさん

伊賀農林商工環境事務所

このシンポジウムでは、生ごみリサイクルを通して食の大切さを全国各地で講演する講師を迎え、地球のためはもちろん生ごみを出さない食事のしかたや生ごみを生かした野菜づくりで子どもたちの心と体を元気にするお話をいただきました。

- ・日時：平成 22 年 1 月 31 日（日）13:30～15:30
- ・場所：名張市役所大会議室
- ・参加者：130 名

生ごみから子どもの未来を考えるシンポジウム

講演「生ごみ先生のおいしい食育」

NPO大地といのちの会 代表 吉田 俊道氏

パネルディスカッション

コーディネーター

名張市快適環境審議会 会長 木本 凱夫氏

パネリスト：NPO大地といのちの会 代表 吉田 俊道氏

名張市商店会連合会 会長 細川 博通氏

伊賀環境問題研究会 代表 森野 広栄氏

名張市長 亀井 利克氏



パネルディスカッションの様子



終了後に行った実演の様子

尾鷲農林水産商工環境事務所・熊野農林商工環境事務所

交流会では、主に生ごみ処理について講演・事例発表を行っていただきました。参加者には、特にダンボール・コンポストが好評で、交流会の後7人の方が購入し、現在も継続して処理を行ってまいります。

- ・日時：平成 21 年 12 月 6 日（日）13:30～16:30
- ・場所：三重県尾鷲庁舎 5 階大会議室
- ・参加者：89 名

ごみゼロ交流会 in 尾鷲・熊野

講演「ダンボール箱を使って生ごみから堆肥を作ってみよう！」

NPO法人循環生活研究所

大垣市環境市民会議 傍島 潤子氏

事例発表1「家庭から出る生ごみ堆肥化の取組」

紀宝町環境衛生課 中家 嗣仁氏

事例発表2「エコキャップ活動と私の生ごみ処理法」

尾鷲市連合婦人会 塩津 史子氏



傍島 潤子氏の講演



参加者の様子

「ごみゼロ県民セミナー」

幅広い県民の皆さんにごみ減量化への関心を持っていただくため制作した、「ごみゼロソング」の作詞者の方への表彰とともに、子どもさんたちによるソング合唱披露を行いました。

また、お天気キャスターとして、お茶の間でもお馴染みの多森成子さんにご講演いただきました。

○平成21年11月21日（土）13：30—15：10

ホテルグリーンパーク津「伊勢の間」（津市）

○参加者：125名

◇ごみゼロソング表彰式

作詞 藤島 幸さん

◇ごみゼロソング合唱披露

作曲・演奏

家城 和子さん（音楽教室講師）

うた

山本 航大さん

コーラス

山本 宙 さん、吉田 千夏さん

合唱

家城さんの教室の生徒さん17名

◇講演

テーマ 「お天気から考える地球環境と身近なエコ」

講師 多森 成子さん（三重テレビ気象キャスター）

◇質疑応答



ごみゼロソング表彰式



ごみゼロソング合唱披露



記念撮影



多森さん講演



<アンケートで寄せられた主な意見>

◆ごみゼロソングについて

- ・とても親しみやすく、楽しい曲で、啓発にも良い
- ・様々なイベントでかけてほしい など

◆講演について

- ・とても分かりやすく、丁寧に聞き取りやすかった。
- ・子どもたちにも分かりやすい内容でリラックスして聞けた。

「ごみゼロ事業者・県民セミナー」

事業者・県民の皆さんを対象に、ロハスに関する講演や地域に密着した環境活動をされている県内外の事業者さんから事例発表を行いました。

意見交換会では、生ごみの堆肥化についてなど活発な質疑が交わされました。

平成22年2月15日(月) 13:30 - 16:00

じばさん三重 6Fホール(四日市市)

参加者: 100名

テーマ 環境意識の高まりを経営にどう取り入れていくか

講演

テーマ 「サステナブルな社会の創り方

21世紀の企業に求められる新しい役割」

講師 一般社団法人LBA共同代表 大和田 順子氏

事例発表

株式会社環境思考(四日市市)

発表者 代表取締役 大川 光司氏

らでいっしゅぼーや株式会社(東京都)

発表者 CSR担当部長 松本 隆潮氏

意見交換会



大和田さん講演



意見交換会の様子



会場の様子

<アンケートで寄せられた主な意見>

講演について

・ロハスの内容がよく分かった。ファッション化せず、ロハスを続けるということが大切ではないかと思えます。

・ごみゼロとロハスがどうつながるのか疑ってました。話をうかがい、納得しました。

事例発表((株)環境思考)について

・古紙回収とポイント還元のアプローチがすばらしいと思いました。

・自分の行った行動が「見える化」により、どれだけ社会貢献しているかわかるので、より環境への意識も高まると思えます。

事例発表(らでいっしゅぼーや(株))について

・「食を通じて社会貢献する」というお話にはものすごく共感しました。

・環境を守るために安さだけを求めてはいけないことを理解できた。

平成21年度行政連絡会議の概要

市町担当部課長会議(第1回行政連絡会議) (H21. 11. 18) 29全市町34名の部課室長・担当者参加

○市町担当部課室長、担当者を対象に、(財)日本環境衛生センター 土屋課長代理による、市町ごみ処理システム最適化に向けた廃棄物会計・ごみ処理カルテ等の活用に関する講演のほか、平成20年度の県内のごみの現状データ(速報値)、ごみゼロプラン進捗状況の第4回「点検・評価(案)」などの説明、情報共有を行った。

第2回行政連絡会議 対象:各市町担当者(課室長)

議題【H21年度ごみゼロプラン推進の取組状況、H22年度当初予算案概要など】

- H21年度モデル事業の取組状況
- H22年度ごみゼロ当初予算案概要
- 循環型社会形成推進交付金(環境省)

地域機関	開催場所	開催日時(H22年)
桑名農政環境事務所環境室	県桑名庁舎 附属棟第5会議室	2月24日(水) 10:00-12:00
津農林水産商工環境事務所環境室	県津庁舎3F入札室	2月25日(木) 13:30-15:30
四日市農林商工環境事務所環境室	県四日市庁舎4F第43会議室	2月25日(木) 15:00-17:00
伊勢農林水産商工環境事務所環境室	県伊勢庁舎審査会室	2月26日(金) 9:30-11:30
尾鷲農林水産商工環境事務所 熊野農林商工環境事務所	県尾鷲庁舎3F301会議室	2月26日(金) 14:00-16:00
松阪農林商工環境事務所環境室	県松阪庁舎6F第61会議室	3月 9日(火) 9:00-11:00
伊賀農林商工環境事務所	室伊賀庁舎	3月10日(水) 14:00-16:00
鈴鹿環境課(四日市事務所管内)	県鈴鹿庁舎4F41会議室	(予定)3月29日(月) 10:00-12:00

○各市町からの意見など



- ・レジ袋の有料化・削減の取組について、収益金の活用方法を、そろそろ各市町ともに決めていく必要があるが、他の市町の事例も参考としたい、県からの情報提供・共有を進めてほしい。
- ・その他、ごみ処理の現状に関する情報交換を行った。

概 要

平成21年度三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」着ぐるみ “エアゼロ吉” 活用実績

資料4

- ◆平成21年4月から使用開始。これまで、ごみゼロ推進室で49回使用し、約9000人（※）の方々と交流。
※このうち、催し物等への出張が13回で6,496人。県庁見学への対応が36回で2,402人。
- ◆CATVや三重テレビなど、メディア番組にも出演。
- ◆平成21年度はこれまで30回の貸出を実施。

活用状況	主な内容	実績	参考
催し物等への出張	<p>県主催等のイベントにて、啓発やPRを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民の日記念イベント（4/18 津市） ・環境出前学習（6/6 津市立大里小学校、10/26 津市立豊ヶ丘小学校） ・ノーレジ袋ウィーク（6月上旬 県庁厚生棟コンビニ前） ・コンビニダストシール贈呈式（7/22 ローソン、サンクス1店舗づつ） ・こども未来会議（こども未来室 8/3 津市） ・そういんエコフェスタ2009（9/23 東員町） ・ごみゼロセミナー（11/21（津市）、2/15（四日市市）） など 		<p>13回</p> <p>来客数 合計6,496人</p>
県庁見学	<p>県庁見学（県民の声相談室所管）において、県庁屋上等で、小学生等に啓発を実施。</p>  	<p>36回</p>	<p>2,402人</p>
メディア	<p>CATV等で、室行事等の告知出演や、県内全域（CATV9局）で放送した番組に出演。 また、三重TVの環境番組内に協力出演。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CATVの番組に告知出演（ZTV「みんなの掲示板」、CNS「チョッとさせて」） ・県内全CATV同時期放送啓発番組（15分）「みんなでめざそう ごみゼロ社会」（10月） ・三重TV「ハッピー！エコCUTE」に協力出演（10月末-11月半ば） など  	<p>告知出演 6回</p> <p>CATV9局の番組 延べ放送回数 87回</p> <p>三重TV出演 4回</p>	<p>—</p>
貸出	<p>無料で貸出実施。 県民・事業者・NPOの皆さんや各市町等から幅広く申請。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコ★体感学習～なくそう生ごみ・減らそうCO2（7/1 鳥羽市立あおぞら保育所） ・ビルメンテナンス協会 地域貢献活動（7/5、7/11） ・桑名北高校文化祭（9/30-10/2） ・3R推進シンポジウム（2/21 松阪市文化会館） など 	<p>30回</p>	<p>貸出先の催し物の 来場者数総計は、 主催者発表で 39,396人</p>

平成22年1月27日

◆ 調査様式	別添様式参照
◆ 調査期間	平成21年12月初旬～平成22年1月中旬（最終×切：H22.1.13）
◆ 調査対象	県内の全小学校406校（H21年度始の県教育委員会作成名簿に掲載された、H21年6月末～7月初めに教材を送付した全校。私立含む。）
◆ 回答校	267校
◆ 回答率	65.7%（未回答139校）

※%表示は端数処理の関係で必ずしも合計100%にはなりません。

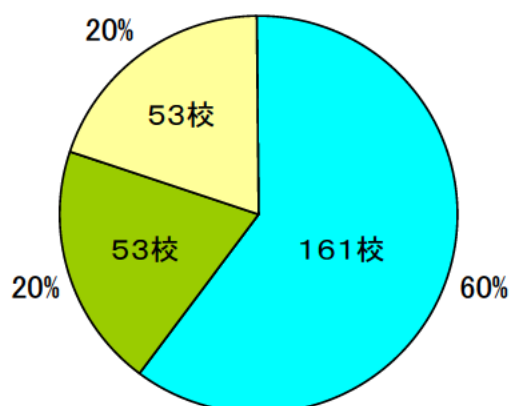
(Q1) 平成21年度における啓発DVD・パンフレット活用状況について

選択肢	校数	割合 (%)
活用した	161	60.2%
これから活用する	53	19.8%
活用する予定はない	53	19.8%
合計	267	

いつ活用したか

6～7月	100校(59.8%)
9～10月	36校(22.3%)
11～12月	23校(14.2%)
1月	2校(1.2%)

H21年度におけるDVD・パンフレットの活用状況

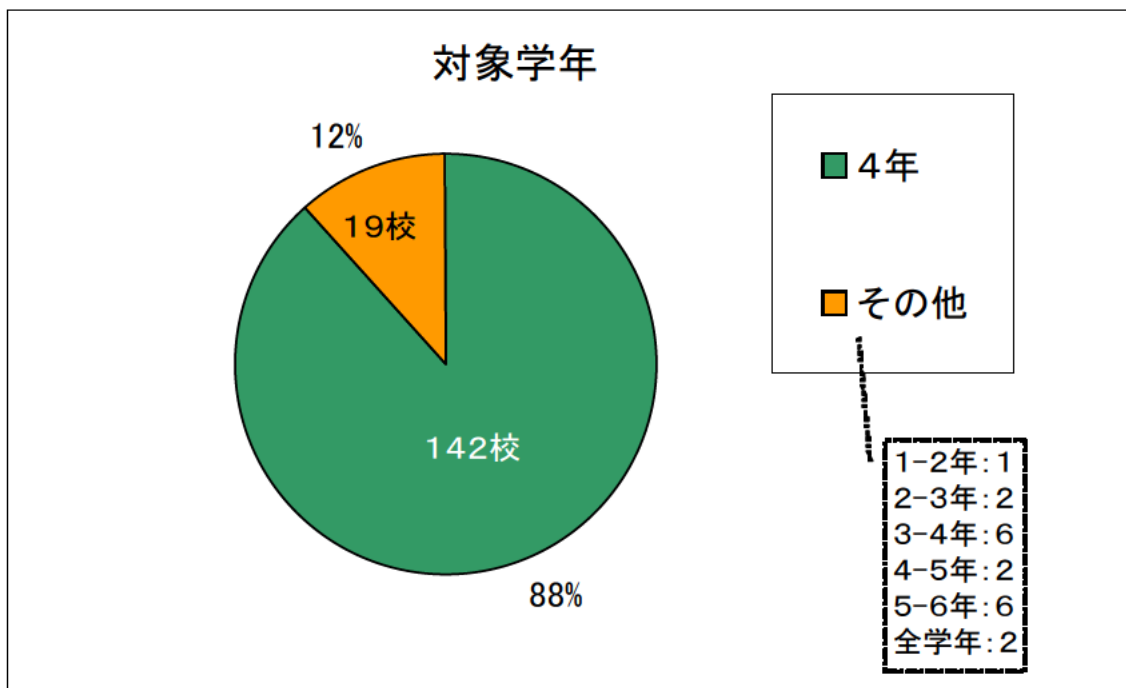


<「活用する予定はない」の理由>

- ・ 時間がない（忙しい、総合学習には別の計画がある等）。
- ・ ごみ処理については4年生の学習として行ったが、環境学習まで踏みこんで学習する計画となっていないため（総合的な学習テーマとして考えていく学年が出てきた場合、今後は活用するかもしれません）。
- ・ 今年度はごみに関する授業はすでに終了していたため。
- ・ 他に使える資料があるから。
- ・ 今年度はごみの学習が終わってから届いたので来年度用に保管してある。
- ・ 市と連携して、毎年秋、子ども、保護者、地域の方を対象にリサイクル、環境学習(学習と展示)を実施している。
- ・ ボランティア団体に来校していただき、話を聞いたり、町のごみセンター、ストックハウスへ見学に行き、学習を行い、今年度は本DVDを使用せずに授業を終えた。
- ・ 環境教育に関しては年間計画に基づいて取り組んでおり、それで十分目的は達成されていると考えているため。
- ・ 映像にたよらず、現場を見せて考えさせたかったから。
- ・ 地域の清掃活動等の見学をして実際に体験することからごみについて知り、考えるよう学習させたかった。
- ・ 学習単元として使いにくかったため（学習内容に合わなかったため）。
- ・ 膨大な学習教材が届き、じっくりと検討する時間がなく、年間カリキュラムをこなすことでいっぱい状態。
- ・ 町の清掃工場で見学し、担当者から「ごみの減量化」の必要性の話を聞いたり啓発ビデオにて学習している。
- ・ 視聴したところ、日常の指導で行っているような内容であったため。 など

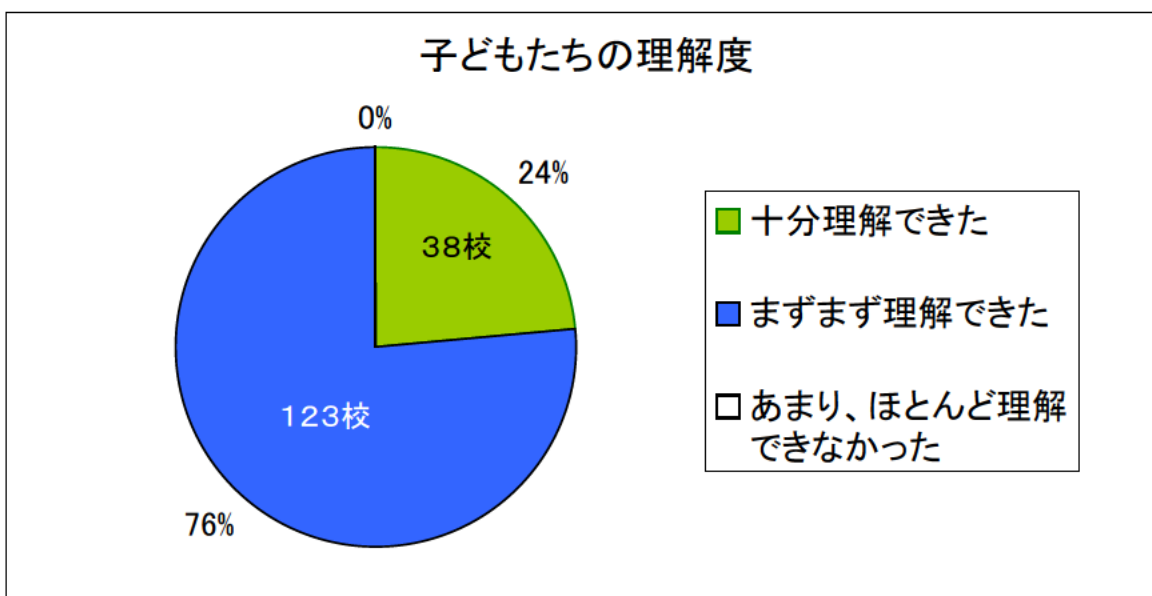
(Q2) 活用対象について

回答	校数	割合 (%)
4年生	142	88.1%
その他	19	11.8%
全体	161	



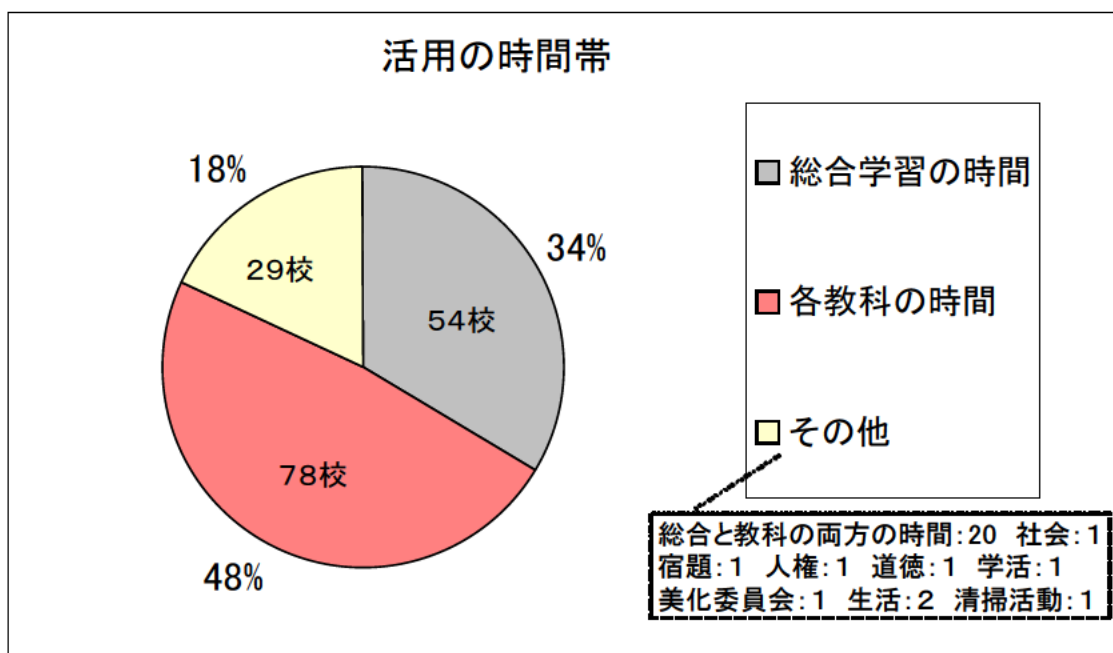
(Q3) 子どもたちの理解度について

選択肢	校数	割合 (%)
十分理解できた	38	23.6%
まずまず理解できた	123	76.3%
あまり理解できなかった	0	0%
ほとんど理解できなかった	0	0%
全体	161	



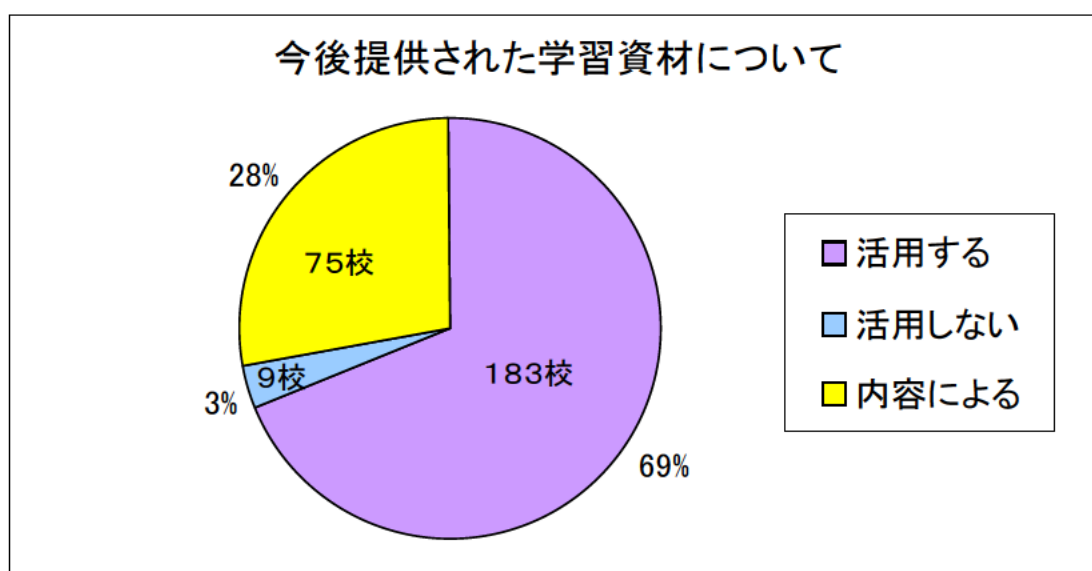
(Q4) どのような時間での活用だったか

選択肢	校数	割合 (%)
総合的な学習の時間	54	33.5%
各教科の時間	78	48.4%
その他	29	18.0%
全体	161	



(Q5) 今後の県(市町)提供の学習教材の活用について

選択肢	校数	割合 (%)
活用する	183	68.5%
活用しない	9	3.3%
内容による	75	28.0%
全体	267	



< 「活用しない」の理由 >

- ・ 社会見学等で学習でき、必要ないため。
- ・ 総合や社会科の学習の中で校外学習としてクリーンセンター見学をしたり、パッカー車で働く様子を見学したりして、実際に目で見える活動が設定できたため。
- ・ 教科書や社会見学で実際に学習する方がよい。
- ・ 教科書で進めるので精一杯。

< 「内容による」のご意見 >

- ・ 学習プランの中に取り込めるものであれば利用します。
- ・ いろいろな団体から、よく似た資料が送られてくるので、その内容によって活用するかどうかを決めたい。
- ・ 内容と時期にもよる。

(Q 6) 環境分野における、教材としての活用希望テーマについて (複数選択あり)

今後の活用希望テーマ (複数選択あり)

ごみ・3R	地球 温暖化	自然環境 (山・川等)	動植物・ 生物	その他
145校	120校	118校	63校	5校

< 「その他」の記入ご意見 >

- ・ 社会の教科書に沿った資料がほしいです。
- ・ 特に身近な資源についてのリサイクル。
- ・ 分野というより地域の教材を扱った内容を希望。
- ・ 4年の1学期4月にごみの学習をするのでその時期に送られると、使用するかもしれません。来年度4月に4年で使います。
- ・ 特に県のリサイクルの状況について。
- ・ 三重のレッドデータブックの動物や写真。
- ・ ネオン公害。
- ・ 大台山系、鈴鹿山系の自然環境。
- ・ 公害 (四日市ぜんそく) 。
- ・ 原子力発電の危険性 (TVコマーシャルでよいように言われすぎだから) 。
- ・ 教科書にそった内容であれば・・・
- ・ 漂着ごみ問題、海の環境と生物。
- ・ 学校環境 (山川漁場)
- ・ いずれでも重要な環境教育のテーマであるため作成いただいた内容に準じて活用していきたいと思いますが、教科書の単元等と連動したものであれば授業の中で活用しやすくなります。

DVD・パンフレットへのご感想、その他ご意見（1 / 4）

- ・ 地域学習をするうえで、とても学習に役立つのでぜひ活用したいです。
- ・ 教科書以外の教材（映像があるもの）は子どもに伝わるものがあると思う。
- ・ 大変役立つ教材でした。
- ・ なかなか学習教材として難しいものなので、作っていただくと助かります。
- ・ 視聴覚教材を活用したい。
- ・ 身近な見学場所はあってもそれに合わせた事前、事後指導資料が少ない。
- ・ 各校ともそれぞれ年間を通した計画があるので単発で配布される教材は重複するところもあり、活用しづらい。
- ・ 映像があつてとても分かりやすい。ごみをへらそうという意識をもてる。子どもたちに親しみやすいキャラクターで楽しみながら視聴できた。
- ・ まとめとして見るには、いいと思われる。
- ・ 市独自の教材があるため、その冊子等を中心に学習を進めていきたい。しかし、環境問題については、ごみゼロパンフレットの方がわかりやすいので検討中。
- ・ いろいろな視点からの教材で学習をさせたい。
- ・ 児童にとって視覚的に学ぶことは有効であると考えられる。
- ・ 授業に沿っていたら活用したい。
- ・ 活用したいと思うので、当該単元に間に合うように提供していただけるとありがたい。
- ・ 映像を活用するとよくわかる。社会見学（年1回）では訪問できる見学先も限られるため、このような教材があると助かります。
- ・ 映像、画像はやはり効果的である。
- ・ 環境問題を学習することは、これからの教育の課題と考える。
- ・ 授業の補助教材として使用したいと思います。
- ・ 絵、写真、グラフ等、子どもたちが興味や関心をもちやすいようにつくりられている。
- ・ ごみのゆくえについて学習する際、環境問題についても関心を持たせたい。
- ・ わかりやすい資料だったので今後も使いたい。
- ・ 地域学習や環境学習を終えての確認と今後につなげるためなどに活用します。
- ・ 映像教材は分かりやすく、楽しく学習できる。
- ・ 視覚的にわかりやすい教材があると指導しやすいため。
- ・ 地域のごみの事情をわかりやすく知ることがごみ問題を身近に扱えるし、関心を持つことができる。
- ・ 話だけでなく、映像やパンフレットの方が子どもたちは理解しやすい。
- ・ 実際に見学出来ない部分もあり、視覚的に活用することが出来る。
- ・ いろいろな情報を知り、その中から自分にあった情報を選んで学習を深めたい。
- ・ 見やすくわかりやすい。子どもたちの学習を深めるため、ぜひ活用したいと思います。
- ・ 4年生では社会見学に県庁で見学をさせていただき、その時、ゼロ吉君とふれ合う時間やごみについて話をいただいたので、今回のDVD、パンフレットにも子どもたちは興味深くとりくめた。
- ・ DVDという視覚的に訴えられるものであるし、子どもたちに分かりやすい。
- ・ 社会科学習に関連して活用できるため
- ・ いろいろな角度から学習をとらえたい。
- ・ DVDの内容と子どもたちの意欲、関心、課題が合えば使いたい。
- ・ 離島という地域がら、体験学習や見学などの機会がすくない。
- ・ 大変分かりやすく、子どもたちも関心が持てる。
- ・ 自分たちの市の現状や様子をより実感できる。
- ・ 子どもたちがすぐに分かるような資料であり、使いやすかった。
- ・ 一学期の社会科の学習の一環として活用していきたい。
- ・ 三重県の社会状況が詳しくのっているので調べ学習の資料として活用しやすい。
- ・ 三重県のことで身近な教材で活用しやすい。
- ・ 映像によって詳しく知ることが出来た。
- ・ 学習に利用できる部分だけでも活用したい。
- ・ 環境教育の分かりやすい導入教材として利用したい。
- ・ 映像で見ると理解しやすいし、環境教育は大切。
- ・ 資料の中身が充実している。

DVD・パンフレットへのご感想、その他ご意見（2 / 4）

- ・今の子どもたちは、DVDなど視覚から学ぶ教材を好み、静かに最後まで聴き取ることが出来ます。
- ・4年生社会では4月に学習する内容なのでできるかぎり早めにいただけるとありがたい。
- ・大変わかりやすく、親しみの持てるキャラクターが子どもたちにとっても好評でした。社会見学後の新聞作りにはしっかり活用しました。
- ・当町の可燃ごみは埋立ではなく、焼却でもないもので、最初は「？」という様子でした。でも不燃ごみやプラごみが増えていくと、今後埋める場所がなくなってしまうことや自分の力でもごみを減らすことができるということが分かって良かったです。
- ・映像で提示することで子どもが理解しやすくなります。
- ・本校では4月よりごみの学習を始めており、届いたときには終わっていたので、十分活用ができませんでした。もう少し早い時期にいただけるとありがたい。
- ・本校ではここ数年、総合的な学習の時間を中心にしながら、地域の自然に目を向け、地域教材（蚕、ヤマユの飼育、土石流調べ、カジカの保護、植物調べ等）を通して、感性豊かな心を育む環境学習に取り組んでいます。今後も大切な資料として活用できると考えていますので、推進の継続をしていただきたい。
- ・カリキュラム上、可能かどうか検討中ですが、3学期での活用を働きかけています。
- ・ゼロ吉等の児童に親しみやすいキャラクターが良いと感じました。
- ・今年はDVDとパンフが届いた時には既にカリキュラムが決まった後だったので活用しなかったが、翌年度は検討したい。
- ・各校とも4年生の社会科だけでなく、いろいろな機会をとらえて環境教育を行っていると思われる。そんな中、しかも配布物の多い1学期末に新たな教材を突然送付されても配布されて終わり、が大半なのではないか。それ以外にも学校には以前に比べて実にさまざまなチラシが来るが持って帰ってゴミ箱がほとんどだろう。そういうのを減らす啓発活動に取り組まれることを望む。
- ・わかりやすく、子ども達にも親しみやすいキャラクターで説明されていてよかったです。
- ・見学のあと、また学習したあとのまとめとして、3Rのことなどにふれ、自分たちでできることについて考えさせる場面で、DVDは有効に使えたのではないかと思った。
- ・5~6月頃に送付していただける方が活用しやすい。
- ・ゼロ吉などキャラクターが親しみやすかったようで、エコソングも自主的に数人が応募した。
- ・三重県環境学習情報センターへ社会見学に行ったときもキャラクター（ゼロ吉）が出てきていたので学習がつながるところがあってよかったです。
- ・外国籍児童が全校生徒の1割強を占めます。漢字全てにルビがあるとありがたい。
- ・希望の持てる明るい未来をイメージできる内容のものをお願いしたい。
- ・副教材として児童の参考になったと感じています。
- ・ごみゼロをめざして、さまざまな活動3Rを紹介いただいたのですから、やはりラストはゼロ吉くんがダイエットに成功した体型になっているのがよいのでは・・・というのが指導者の立場の意見です。2人の指導者で鑑賞しましたが、2人とも同感でした。子ども達はそこまで気付いてはいませんでした。社会がごみゼロに対する意識を高めていったらこうなるという姿を見せた方がよりよいと感じました。
- ・DVDやパンフによる映像や図は子どもたちにとって理解しやすい。
- ・パンフはごみの勉強をしている時期だったので、社会見学へ向けての予習や、その後の復習に使わせていただきました。「ゼロ吉ファミリー」がかわいらしくて、親しみやすかったです。
- ・かわいいキャラクターで分かりやすいパンフレットでした。リデュース、リユース、リサイクルの例を箇条書きにして、子どもたちの生活に沿ったものにしていただけたとうれしいです。また来年も活用したいと思いました。
- ・市の環境森林部の施設見学や資料を中心に環境学習を進めました。
- ・大変分かりやすい資料であると思う。子どもたちの生活ではごみを分別したり少なくしたりすることの必要性が感じられない。どう考えるか、資料の工夫が必要であると思う。
- ・社会科の学習を発展させ、環境問題について総合の時間に取り組んだ。子どもたちが選んだテーマによっては適した内容もあったが、全ての内容が合っていたとは言えない。どの場面で活用するのかにもよると思う。

DVD・パンフレットへのご感想、その他ご意見(3/4)

- DVDとパンフレットが一体化されていてとても分かりやすく、ごみについての学習が出来ました。キャラクターもかわいかったです。
- パンフレットの学習を生かして全校行事で年2回の地域の清掃活動を実施している。また校区内に清掃センターがあり、見学するとともに、全校で「くるりんペーパー事業」の取り組みを行っている。
- ごみの処理にとってもお金がかかることが分かり、子どもたちも大人の私たちも大変驚きました。くるりんペーパーを進めています。また他県のように指定のごみ袋でのみ回収というのでも一案かと思えます(はじめは指定ごみ袋で意識化することからして、東京都の町田市では、数年前から徐々に指定ごみ袋で減量化しているようで)。
- 4年生は6月から市で作られている教材をもとに「ごみゼロ」について学習しました。今回のパンフレットはその副教材として使いました。
- まとめとして利用したので内容がコンパクトにまとめて提示されていて子どもたちにもよくわかったようだった。三重県の資料もあり興味をもって学習できた。
- 4年生の学習のまとめとして3月に活用します。
- キャラクターがかわいくて、子どもたちも楽しそうに観てました。
- 4年生のごみの教材は4月の教材なので、年度初めにおくってほしい。
- とても身近な話が多く、子どもたちはじーっと見入っていました。
- とても真剣に見てくれました。
- 子どもたちは、動植物にとっても興味を持っていますので、そんなDVDがあれば積極的に活用したいと考えています。
- DVD等、視覚に訴える教材の充実をお願いします。
- 社会科や理科、道徳等の内容とリンクして学習できるので児童の環境に対する理解が深まり助かりました。
- DVDやパンフを配るよりもインターネットで調べ学習ができるような方向にしていってもよいのではないかと。全員が自分のペースで調べられるからです。又、学校でパソコンやネットワークシステムが完備されつつあるので。
- DVDはとてもわかりやすい内容でしたが、すでに社会見学もして実際に見て話も聞かせてもらった後だったので、時間的なこともあり、活用しませんでした。
- キャラクターが出てきたのがわかりやすく子どもの実態や学習内容に合っていて良かった。
- わかりやすかったです。
- 4年生は社会科の学習で「ごみのしゅりと活用」の単元を取扱います。例年、時期的に4月～5月あたりですので、年度の初めにパンフレット、DVDが届いているとありがたいです。
- 幅広く基本的な内容を押さえることのできるものが使いやすいと思います。
- 学校は諸団体等よりDVD、ビデオ等の資料をいただき、大変ありがたいことではありますが、学習内容を確実に指導したり、必要に応じて見学に出向いたりと与えられた時間内でめいばいの活動を行っているというのが現状です。いただいた教材は、地域のクリーンセンター見学のために活用できませんでした(全編再生し、見せていただきました)。
- 視覚で理解できる教材は子どもたちにとってわかりやすく使いやすいのでありがたいです。
- 今回は授業のまとめとして観たが、導入として使えば、子どもたちの意欲付けにもなるし、授業の内容もイメージしやすくなると思った。今後もこのような教材があれば使ってみたい。
- 4年生の児童にもわかりやすい内容でいろいろな学習ができそうである。
- 学校環境デーの前後や学級の時間に使います。
- 社会科での学習は実施済だったので、パンフレットは復習に利用した。
- 「分べつをしなければ」「リサイクルってすごい」という児童の感想です。
- DVD、楽しく見ました。
- 4月当初にDVDがとどくと教材の学習に取り組みやすいと思います。
- 山や川、海をする場合、地域産業も含めていただきたいです。
- 写真や図が多くあり、親しみやすい内容でした。自分たちの日常生活をみなおすのにいいパンフだと思いました。
- ゼロ吉とその家族が登場して子どもたちにはとても親しみやすい内容でした。
- カラーのイラストによる説明もあって子どもたちも興味をもって楽しそうに見ていました。
- 各学校では年度当初、学習年間計画を立てて授業を進めています。そのためできれば年度初め頃にお知らせをしてもらえれば活用しやすいのではないかと思います。

DVD・パンフレットへのご感想、その他ご意見（４／４）

- ・ 写真がたくさん載っていたので良かったです。
- ・ DVDは子どもたちが理解しやすい。パンフは家庭と連携して取り組めて良かった。
- ・ 環境学習を実施していく上で大変参考になりました。
- ・ ていねいに作られておりますので、もっと早い時期に送付があればありがたいです。
- ・ 当町では生ごみ等の分別されたごみは、固形燃料（RDF）に成形しています。このDVDでは焼却や埋め立てがごみ処理の一般的な方法のようになっていたので、ものたりなさや「県は遅れているのでは？」という感想も出ていました。
- ・ 今のところ、独自の教材（海ごみ、漂着ごみ、川の環境）を作成利用している。ただ単にごみゼロ社会をめざすというより、今までの負の遺産の解決に向けてよりふみこんだ取り組み（現状をしっかりと見直したもの）が必要だと思う。
- ・ もっと早い時期に送付されるとありがたい。
- ・ ゼロ吉くんが、低学年に親しみを感じさせたのか、熱心に見て、感想を言えた。1日に学校プール19杯分というところでは、エーッという驚きも声もあがった。
- ・ （担任の先生の意見）写真やイラストなどが多く、わかりやすかったと思います。
（事務の方の意見）一般的な話です。このパンフレットのことを批判しているわけではありませんので、まずお断りしておきます。とにかく学校は各行政機関や外部からのチラシ、パンフ、ポスターで溢れています。安易に学校に印刷物を配るとするのは勘弁していただきたいです。配布（特に低学年は配るだけでも大変です）・仕分け等労力の割には担任に嫌がられるばかりで、活用されないものがたくさんあります。何か事業をするほうはチラシ・ポスター・冊子等を製作して学校に配布するというのは実績としてやりやすいですが、膨大な資源のムダになっています。学校も非常につらいです。「ポスター・パンフレット行政」をやめるような取組をしてください。
- ・ 見やすいパンフレットで子どもの反応がよかった。
- ・ 希望テーマ（ごみ・3R, 地球温暖化、自然環境(山・川)、動植物、生物)についても、ぜひDVD等を作成していただきたい。

以上

ご協力いただき、大変ありがとうございました。

三重県環境森林部ごみゼロ推進室

TEL：059-224-3126

FAX：059-229-1016

メール：gomizero@pref.mie.jp

<HP> <http://www.eco.pref.mie.jp/gomizero/>

単位:校

全県計 対象:406校	回答数	DVD・パンフ活用状況 (H21年度)			対象学年	理解度			活用時間			今後の送付学習資材			活用希望テーマ(複数選択あり)				
		活用した	これから活用	活用しない		十分理解	まずまず理解	あまり、ほとんど理解できず	総合学習の時間	教科の時間	その他時間	活用する	活用しない	内容による	ごみ3R	地球温暖化	自然環境	動植物・生物	その他
	267	161	53	53	4年 142	38	123	0	54	78	29	183	9	75	145	120	118	63	5
率	65.7%	60.2%	19.8%	19.8%	88.1%	23.6%	76.3%	0.0%	33.5%	48.4%	18.0%	68.5%	3.3%	28.0%	—	—	—	—	—
桑名管内	39/50 78%	21 53.8%	6 15.3%	12 30.7%	4年-19 6年-2	6	15	0	7	12	2 両方	25	1	13	23	16	16	6	1
四日市管内	29/48 60%	17 47.3%	2 10.5%	10 42.1%	4年-17	4	13	0	3	13	1 両方	17	1	11	13	10	7	8	1
鈴鹿管内	30/41 73%	15 50%	7 23.3%	8 26.6%	4年-15	4	11	0	5	7	3 両方-2 宿題-1	20	2	8	19	15	13	7	0
津管内	35/58 60%	28 80%	3 8.5%	4 11.4%	4年-26 3-4年-1 全学年-1	8	20	0	13	10	5 両方-4 人権-1	26	1	8	25	16	19	7	0
松阪管内	33/53 62%	22 66.6%	7 21.2%	4 12.1%	4年-19 3年-1 5年-1 4-6年-1	3	19	0	8	10	4 両方-2 道徳-1 美化委員会-1	29	0	4	13	17	14	9	0
伊勢管内	41/70 58%	28 68.2%	10 24.3%	3 7.3%	4年-24 2-3年-1 3-4年-1 5-6年-2	9	19	0	6	15	7 両方-6 学活-1	27	0	14	21	25	20	13	0
伊賀管内	26/42 61%	13 50%	9 34.6%	4 15.3%	4年-11 3-4年-1 6年-1	2	11	0	8	5	0	18	1	7	16	16	10	4	2
尾鷲管内	13/19 68%	5 38.4%	2 15.3%	6 46.1%	4年-3 4-5年-1 全学年-1	0	5	0	1	2	2 両方-1 生活科-1	8	2	3	5	5	5	0	0
熊野管内	20/23 87%	12 60%	6 30%	2 10%	4年-8 1-2年-1 3-4年-2 4-6年-1	2	10	0	3	4	5 両方-3 クリーン 作戦-1 生活科-1	12	1	7	9	8	13	8	1

FAX: 059-229-1016

市・町・私・立

小学校

ご担当先生: ご役職

/ご氏名

TEL:

FAX:

メール:

該当の□をチェックいただくとともに、
該当箇所をご記入ください。



Q1 今年(H21年)度における啓発DVDならびにパンフレットのご活用の状況を教えてください。

活用した(いつ: ____月) これから活用する(→いつ: 12月 1月 2月 3月)

活用する予定はない

→ その理由を教えてください。

Q1で「活用した」の場合のみ、**Q2~Q4** もご回答ください。

Q2 活用の対象とされたのは何年生の皆さんでしょうか?

____年生

Q3 児童の皆さんの理解の度合いはいかがでしたでしょうか?

十分理解できた まずまず理解できた

あまり理解できなかった ほとんど理解できなかった

→ 理解できなかったとのご回答の場合、その理由、教材の問題箇所等があれば教えてください。

Q4 どのような時間でご活用されたかを教えてください。

総合的な学習の時間 各教科の時間

その他 (_____)

以下は、全員の方にお尋ねします。

Q5 今後、県(市町)から、このような学習教材等の提供があった場合、活用されますか?

活用する

活用しない

→ その理由を教えてください。

内容による

Q6 Q5で「内容による」の場合も含め、環境分野で、教材として活用希望テーマがありますか?

ごみ(3Rなど) 地球温暖化 自然環境(山・川など) 動植物、生物

その他

※DVD・パンフへのお気づきの点や児童の皆さんの反応、その他ご意見等ございましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。FAXでお送りください。



ごみゼロ社会づくり

ごみゼロキャラクター ゼロ吉

「ごみゼロ社会」実現推進事業
(平成 22 年度予算額 : 29, 276 千円)

環境森林部
ごみゼロ推進室
TEL 059-224-3126

資料5

ごみゼロ社会実現プラン

【数値目標】	【短期 2010 年度】 (平成 22 年度)	【目標 2025 年度】 (平成 37 年度)
○ごみ排出量削減率	(家庭系) 6% (事業系) 5%	30%
○資源としての再利用率	21%	50%
○ごみの最終処分量	81,000ト	0ト
○ものを大切に使う 率 等	80%	100%

各主体に期待する役割・取組

住民	市町のごみ減量化施策等への参画
事業者	製品の開発・流通・消費各段階での 廃棄物減量に向けた工夫・取組
市町	家庭ごみ有料化、生ごみ再資源化 等のごみ減量化施策の推進
NPO 等 団体	市町の施策への参画、資源物回収 等の自主的取組の実施・運営

プランの点検・評価 1,327 千円

プラン推進委員会との連携による、PDCAサイクルに基づく
マネジメントの実施とプランの見直し



《3Rの推進に向けたモデル事業と「ごみ減量化と
低炭素社会の構築」のさらなる定着をはかる方策等の検討》

連携
協働

モデル事業の実施とその成果の普及に向けた取組 7,000 千円

- ・市町が取り組むプランに沿ったごみ減量化に効果的な取組を3件程度、モデル事業として支援
- ・モデル事業の成果を整理・活用し、短期目標の達成に向け県全域へ展開
(取組例)
 - 地域密着型資源物回収システムの構築検討
 - 生ごみの効率的な収集体系の検討 など



ゼロ吉ファミリー

ごみゼロプランの改訂と

より効果的なごみ減量に向けた取組 11,550 千円

- ・プラン策定から5年を経過することから、より効果的なごみ減量に向けた取組へつなげるため、ごみの排出実態やごみ減量に関する先進事例調査、県民・事業者アンケート調査を実施するとともに、プランの改訂を行う。

《プランの普及・啓発と成果の共有》

ごみゼロの普及・啓発に向けた取組 3,222 千円

県民・NPO・地域団体・事業者・市町・県
廃棄物会計や市町ごみ処理カルテの普及促進、ごみゼロ・3R啓発推
進員を活用した地域NPO等のコーディネートや啓発の強化等

ごみゼロへの気運醸成に向けた情報発信 3,805 千円

ラジオ&ケーブルTVでのCM放送
駅への看板掲出等

地域ごみゼロ交流会の実施 993 千円

県民・NPO・地域団体
住民主体のごみ減量活動促進のための啓発、情報交流、事例研修

ごみゼロフォーラムの開催 1,379 千円

県民・NPO・事業者等
各主体のごみ減量化取組の一層の活性化と低炭素社会の構築に向け
て、これまでの取組成果の報告と意識から行動へつなげる次の取組の
きっかけとなるフォーラムを開催する

平成22年度年間スケジュール(案)

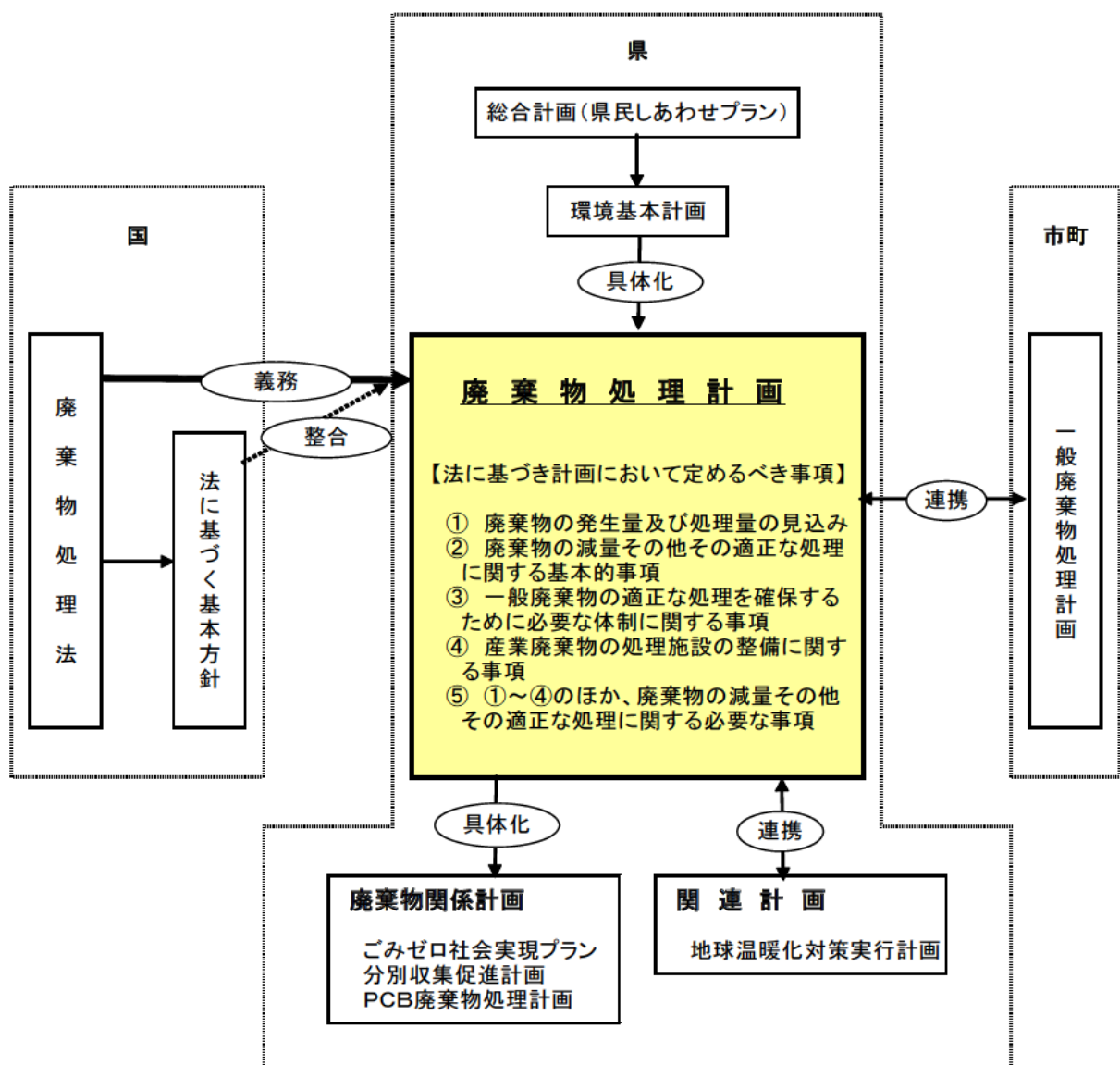
	平成21年度		平成22年度												
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ごみゼロプラン見直し項目、内容	ごみの現状値の把握 ・中期目標の目標年度及び数値目標の見直し		市町実態調査(H21速報値)		中期目標(年度、数値)の見直し検討						市町実態調査(H21確報値)				
	県民意識調査等一般廃棄物実態調査		県民意識調査・事業者意識調査				21年度プラン推進点検・評価取りまとめ								
	ごみ減量可能性調査		ごみ組成分析調査		先進事例調査		これまでの施策、取組に関する効果検証(モデル事業等、県・市町の施策や取組) ・課題の抽出、整理		今後の施策・取組の効果検証、整理		取組内容、スケジュールの見直し ・各主体の役割分担の検討整理				
	総括				プラン改訂中間案の検討・作成		プラン改訂最終案の検討・作成						ごみゼロフォーラム		
ごみゼロ社会実現プラン推進委員会	○ 14回推進委員会 ・21年度実施状況 ・プラン改訂の考え方・進め方 ※3/16開催予定		○ 15回推進委員会 ・21年度速報値 ・数値目標の検討 ・政策・施策の検討・作成		○ 16回推進委員会 ・数値目標検討・作成(確定) ・プラン改訂・骨子・中間案の検討・作成		○ 17回推進委員会 ・プラン改訂中間案の報告		○ 18回推進委員会 ・21年度点検評価 ・プラン改訂最終案の検討・作成		○ 19回推進委員会 ・22年度実施状況 ・プラン改訂最終案の検討・作成				
県環境審議会							○ 中間報告						○ 答申		
廃棄物部会	○ 第1回(2/8)	○ 第2回	○ 第3回	○ 第4回	○ 第5回	○ 第6回	○ 第7回								
	・計画策定の趣旨 ・廃棄物に関する現状と取組 ・今後の部会の進め方	・計画の全体フレーム ・計画の基本的事項 ・計画策定の背景 ・計画の基本理念	・取り組む政策の方向 ・計画の目標(将来推計、数値) ・政策の内容①	・政策の内容② ・計画推進の進捗管理	・中間(案)の取りまとめ	・パブリックコメントへの対応 ・計画(案)の取りまとめ	・計画(案)の決定								
廃棄物処理計画	計画素案・計画案の検討										○ 中間報告	○ 議会報告(中間報告)	○ 計画策定・公表・議会報告		

廃棄物処理計画について

1 廃棄物処理計画の性格

都道府県は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）において、廃棄物の減量その他その適正な処理の基本的な方向等を定めた国の基本方針を踏まえ、その区域内における廃棄物の減量その他その適正な処理に関する計画を定めることとされています。

2 廃棄物処理計画と関連計画等との関係



3 三重県の廃棄物処理計画に係る経緯

三重県では、産業廃棄物の処理計画を、昭和48年、昭和56年及び平成5年の3度にわたり策定しています。

その後、平成12年に廃棄物処理法が改正され、従来の産業廃棄物処理計画に代えて一般廃棄物と産業廃棄物を通じた廃棄物全体に係る計画を策定することとなり、平成13年5月に告示された国の基本方針に即し、平成16年3月に廃棄物処理計画を策定しました。

本計画は、平成22年度を目標年度としていることから、次期計画については、当該年度中に策定する必要があり、低炭素社会の視点も踏まえた計画の策定を目指します。

4 現行計画の基本的事項

(1) 計画の期間

平成16年度～平成22年度（7年間）

(2) 計画の基本目標

① 環境経営の推進による社会基盤の充実

人材の育成、環境産業の振興、環境に配慮したまちづくりの推進など、環境への負荷が少ない、資源循環を基調としたソフト・ハード両面での社会基盤の充実

② 持続可能な資源循環の実現

廃棄物の排出抑制、再使用、再生利用、熱回収などの適正な循環的利用を徹底して行うことによる、限りある資源や生活環境等への負荷の最小化と、持続可能な資源循環の実現

③ 安全・安心な廃棄物処理の確立

廃棄物の適正処理の確保、情報の積極的な公開等のほか、不適正処理を徹底的に未然防止する体制の構築による、安全・安心な廃棄物処理の確立

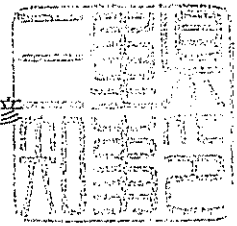
環森第08-284号

三重県環境審議会

三重県廃棄物処理計画の策定にあたり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律
(昭和45年法律第137号)第5条の5第3項の規定に基づき貴審議会の意
見を求めます。

平成22年1月21日

三重県知事 野呂 昭彦



諮問理由

廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、国は一般廃棄物と産業廃棄物を通じた廃棄物全体の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本方針を策定することとし、都道府県においては国の基本方針に即し、廃棄物全般に関する「廃棄物処理計画」を定めることとされています。

三重県では、循環型社会の構築に向けた取組を県民、事業者、行政が主体的にあるいは連携、協働して進めていくために、平成16年3月に、平成22年度を目標年度とした「三重県廃棄物処理計画」を策定し、廃棄物の発生抑制、再生利用など減量化の促進及び適正処理の推進のための施策の展開を図ってきました。

今回の諮問は、三重県における廃棄物の現状及び課題や資源循環（廃棄物処理）における温暖化対策の最近の動向を踏まえ、循環型社会の実現に向けて、さらに3R（発生抑制、再使用、再生利用）と適正処理を推進していく必要があることから、次期廃棄物処理計画の策定にあたり、貴審議会の意見を求めるものです。